



## わくわく活動ひろば

豊橋市では、みなさんからの寄附などによるトヨッキー基金（市民協働推進基金）から、社会に役立つ活動に市民協働推進補助金を交付しています。この補助金によるNPOや自治会などの活動を紹介します。



### NPO法人 ふい〜る工房

私たちは、平成11年9月、障害のある方と家族に寄り添い「障害のある方も、そうでない方も、感じたことを感じたままに表現できる普通の社会の実現」を基本理念に活動を開始しました。今年度は、平成17年10月に制定された障害者自立支援法の周知啓発を目的に「市民福祉フォーラムinとよはし3『福祉』から『自立』へ」を開催します。障害者自立支援法の第1条には「この法律は（中略）障害の有無にかかわらず国民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする」とあります。地域社会の実現とはまさしく「まちづくり」のこと。この「まちづくり」に障害のある方や家族などがどのように関わっていくのか。障害者自立支援法を読み解きながら、社会保障、子育て支援などの課題について市民みんなでもとに考える。そんな企画にしていきたいと思えます。市民文化会館でも「まちづくり」を考えましょう！

#### ■市民福祉フォーラムinとよはし3「福祉」から「自立」へ

**とき:**3月14日(出)午後3時・15日(回)午前10時30時 **ところ:**市民文化会館(向山大池町)

**問合せ** NPO法人 ふい〜る工房 神谷(☎26・6321 ☎26・6322 📧juncolor@ruby.ocn.ne.jp)



昨年のフォーラムのようす

### とよはしきこり隊

私たちは平成17年に発足し、隊員数は現在30人、市内の人工林（スギ・ヒノキが植栽された林）を活動の場に森林保全ボランティアを行っています。

豊橋市には、約2,000ヘクタール（市総面積の10%）の人工林があり、その大半が木材生産のために作られました。しかし、国内の木材価格の低迷や山主の高齢化のため、手入れの遅れた人工林が多くみられます。

こうした場合、人工林の「私的財産価値」だけでなく、保水力の低下や土砂崩れの発生、森林に住む動植物の減少など、「公共的価値」も低下します。

とよはしきこり隊は市内の森林保全を担当する市役所農政課と連携しながら、手入れの遅れた人工林の間伐作業（木の間引き）を行い、林の地表に多くの植物が再生できる環境づくりを行っています。

今後も森林整備技術を磨きながら、市内の山主の方々へ、森林保全の大切さや市の支援事業などのPRを行い、市内の人工林の「自然環境価値」の向上に努めていきます。森の手入れでお困りの方、とよはしきこり隊と一緒に、森を生き返らせてみませんか？

**問合せ** とよはしきこり隊 高橋(☎090・5600・8313)



スギ・ヒノキ林の環境整備のようす

トヨッキー基金・市民協働推進補助金について、詳しくは市民協働推進課  
(☎51・2482 📧<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/shiminkyodo/>)

#### 豊橋市役所

〒440-8501 今橋町1番地 代表☎(0532)51・2111

編集・発行(毎月1日・15日)広報広聴課☎51・2165 📧56・5711

豊橋市ホームページ <http://www.city.toyohashi.aichi.jp/>

平成16年1月1日号からの広報とよはしのバックナンバーもご覧になれます

広報とよはしはカラーユニバーサルデザインに対応しています

#### 点字広報・声の広報を発行しています

目の不自由な方のために、広報とよはしの点字版とカセットテープ版を月2回発行しています。

ご希望の方は、広報広聴課(☎51・2166 📧56・5711

📧kohokocho@city.toyohashi.lg.jp)へ連絡してください。